

あなたなりの視点で描く

なぜか気になる情景

表現

鑑賞

[学びの目標]

-  形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、絵の具の使い方を工夫して表す。
-  身近な場所のイメージなどをもとに、形や色彩、構図などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
-  気になる場所を見つけ、その特徴^{とくちょう}をとらえて表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。

あなたは、通学路や家などの見慣れた情景の中で、なぜか気になる心ひかれるような場所や、ものに出会ったことはないでしょうか。何気ないものでも、形や色彩、全体の様子などに着目すると何かに見えてきたり、もののつぶやきが聞こえてくるようなイメージが生まれたりします。

あなたの視点で見つけた情景を、表現方法を工夫して表してみましょう。

気になるところを見つけたら

気になるところを校内や通学路などで見つけた時は、カメラで記録したりスケッチしたりしてみましょう。



兄弟のように並んだ木の実の写真と、川の水面をとらえたスケッチ。



生徒作品

じゃぐち
蛇口

[アクリル・紙／35.5×35cm]

作者の
言葉

いつもポツンとそこにあり、きれいな水を出し、光に当たって独特のさびしさと美しさを持つ、この蛇口にひかれました。

造形的な視点

作者の表したいことと、構図や色の使い方に着目してみよう。

表現

鑑賞



生徒作品

新しい世界へ

[アクリル・紙／38×54cm]

作者の
言葉

「出られた！長かった！」みぞの中から
葉っぱが外に向かって生き生きと生えて
いて、その力強さや美しさを表現したいと思いました。



セーヌ川に面した開いた窓、ヴェルノンにて

[油彩・キャンヴァス／74×113cm] 1911ころ

ジュール・シェレ美術館ニース蔵[フランス]

ピエール・ボナール [フランス・1867～1947]

窓越しの明るい風景と室内の暗さが、色や構図で印象的に表現されている。

生徒作品

スロープの先

[アクリル・紙／38×54cm]

作者の言葉

スロープの先は、いつも待ち合わせをする場所で好きな時間を過ごせる所です。手前の木は庭師の方が手入れをしていて温かみを感じる形です。



参照 P.62 「遠近感を表す」

B4判 26P 美術1



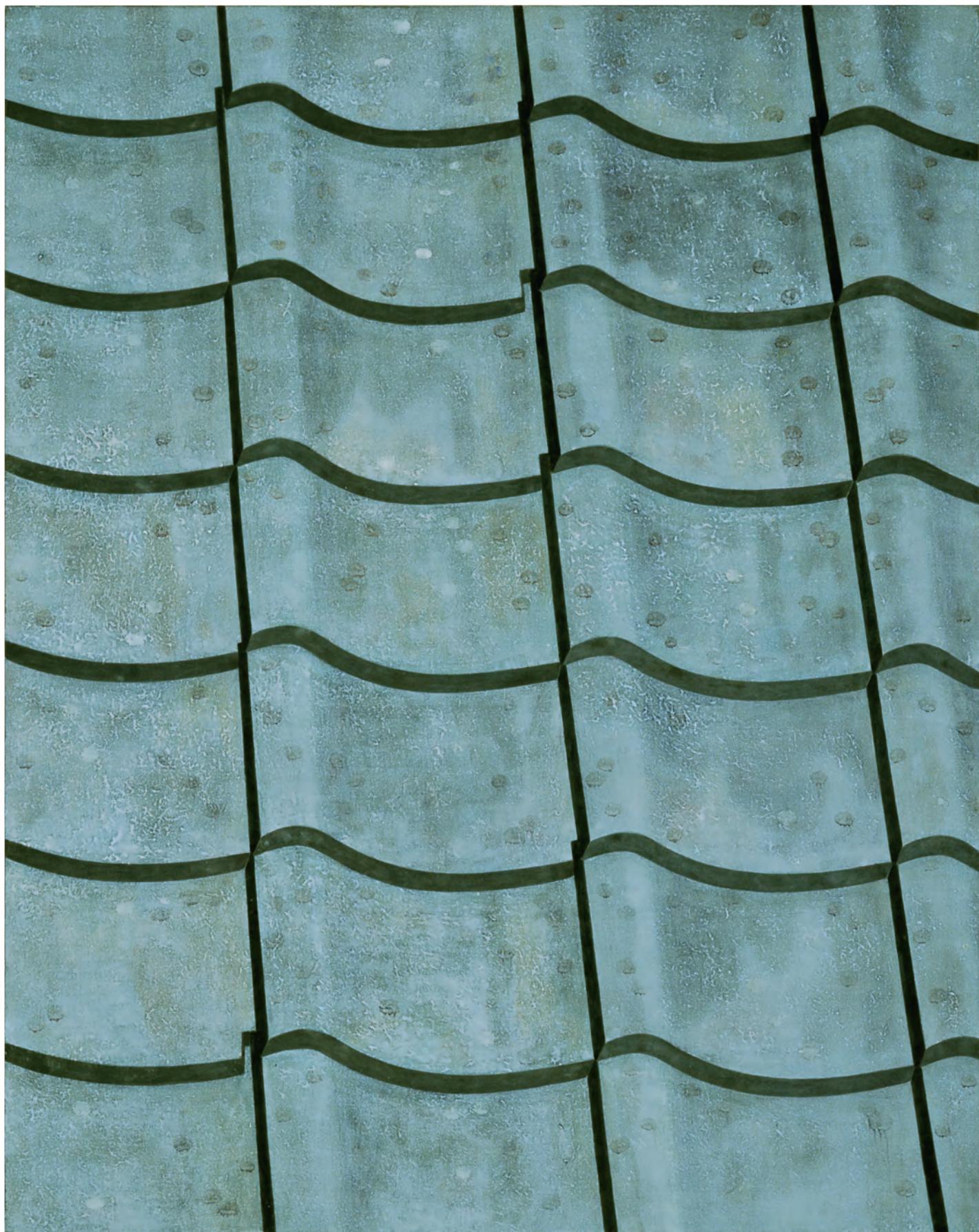
生徒作品

しょうきゃくじょ
焼却所

[アクリル・紙／54×38cm]

作者の
言葉

使い古されて風化した感じや、形
も面白いと思いました。背景は明
るく焼却所は暗いという見た時の印象を表現し
ました。



雨

[紙本着色／108.7×86.5cm] 1953

東京国立近代美術館蔵 福田平八郎 [大分県・1892～1974]

屋根瓦に落ちては消えていく雨粒を生き物の足跡のように感じた
作者の視点が、色彩の重なりから伝わってくる。